

医療法人 春水会

熊本県

山鹿中央病院

理事長 水足 秀一郎

認知症、脳卒中、神経難病など様々な神経疾患のすべてのステージを診療いたします。地域に貢献できますよう、介護・福祉・住民との連携、地域包括ケアシステムの充実を目指しています。



院長 原 暁生

山鹿市山鹿1000番地

【診療時間】 月～土 9:00～12:30 / 13:30～17:00

【休診日】 土午後、日、祝

☎ 0968-43-6611

山鹿中央病院 |

アルツハイマー型 認知症 医療機関ガイド

特集

その症状は危険サイン！ 認知症の3人に2人はアルツハイマー型認知症

認識、記憶、判断力の低下！ 早期発見・早期治療の重要性

超高齢社会の浸透とともに、認知症の人も増加する傾向にある。中でも3人のうち2人がアルツハイマー型認知症で、記憶障害や見当識障害、学習障害、注意障害などの認知障害の症状が出る。認知症は、早期発見と早期治療が大切で、かかりつけ医から認知症についての経験豊富な医師を紹介してもらおうといいだろう。

良医の視点

vol.12

ライター/秋山晴康
企画・制作 IKA アド TEL.03-5652-3327

記憶障害や見当識障害など アルツハイマー型の認知障害

厚生労働省の研究班が2013年にまとめた調査結果では、認知症の人の中でアルツハイマー型認知症が全体の67・6%を占めている。実に3人に2人がアルツハイマー型認知症であるという。これに、脳血管性認知症19・5%、レビー小体型認知症4・3%などが続く。

アルツハイマー型認知症の症状は、記憶障害や見当識障害、学習障害、注意障害などの認知障害である。記憶障害は重度の物忘れ、見当識障害は時間や季節、場所がわからないなどで、そんな兆候が現れたら危険サインだ。症状は徐々に進行する特徴があり、重度になると食事や着替えも一人でできなくなり、身体機能が低下して寝たきりになることも少なくない。

早期発見と早期治療が大事で かかりつけ医に相談しよう

認知症は早期発見と早期治療が重要視されている。

認知症を心配される人や家族は、かかりつけ医に相談するといいたいだろう。日本老年精神医学会や日本認知症学会では、認知症専門医制度を設けているため、かかりつけ医からそうした認知症診療についての経験豊富な医師を紹介してもらうようにしよう。病院の中には、「物忘れ外来」を設けているところもある。

認知症の治療も進んでいる。アルツハイマー型認知症では、飲み薬であるドネペジル、ガラントミン、メマンチンと貼り薬のリバスタチグミンの4種類の薬物療法が行われている。これらの薬を使うことにより一時的に症状が改善したり、進行を抑えたりすることが期待されている。

認知症については、まず正しく理解することが第一歩といえる。国際アルツハイマー病協会（ADI）は、世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心にアルツハイマー病の啓蒙を行っている。日本でもアルツハイマー型認知症に関連するさまざまなイベントやシンポジウ

ムなどが開かれている。認知症の人やケアする家族は、悩みを一人で抱え込んでしまいがちだ。このため認知症の人と共に生き、その人が穏やかに暮らせるような社会や環境づくりが大切で、医療機関を含めてさまざまな支援が行われている。

アルツハイマー型認知症の治療薬

一般名	対象となる時期	主な副作用	発売年
ドネペジル	軽度（自立）～ 重度（全介助）	食欲減退、吐き気	1999
ガラントミン	軽度（自立）～ 中度（半介助）	吐き気、嘔吐	2011
リバスタチグミン	軽度（自立）～ 中度（半介助）	薬を貼った部分の 皮膚のかゆみ	2011
メマンチン	中度（半介助）～ 重度（全介助）	めまい、便秘	2011